

～ 人権・同和教育だより ～

# 「空に風 人に愛」

島根県立浜田高等学校

定時制・通信制課程

第3号 2020. 6. 26 (金)

## ひ ぼう ちゅう しょう ＜ 誹 謗 中 傷 ～法律で規制しなくてはならないのか？～ ＞

「誹謗中傷」とは、「根拠のない悪口を言いふらして、他人を傷つけること」です。近年、インターネット上で誹謗中傷の被害が拡大傾向にあり、問題となっています。



ジャーナリストの伊藤詩織氏(31)が、自身の性暴力被害をツイッターで「枕営業」などと名誉を傷つけられたとして漫画家のはすみとしこ氏ら3人に770万円の支払いを求めて提訴した背景には、ネット上で誹謗中傷を受ける人が心身共に追い詰められる現状への強い危機感がある。提訴後の記者会見で伊藤氏は「(誹謗中傷は)私たちの世代で終わりにしたい」と述べ、はすみ氏だけでなく他の書き込みに対しても法的措置を取っていく方針を明らかにした。

伊藤氏は8日午後2時から、代理人弁護士とともに東京都内で会見を開いた。誹謗中傷ツイートについて「正面から向き合い闘うのがつらかった。そうすることにどれくらい意味があるかもわからず、見なければいいと自分に言い聞かせていたところがあった」と語った。その上で「でも、投稿はいつまでも消えず、どんどん拡散されている。今自分が行動を起こさなければ、こうした発信をしていいのだということになってしまう」と提訴理由を説明した。(中略)

伊藤氏は会見で「顔も見えない人たちから、どこから石が投げられてくるか分からない。それがとても苦しい」と話した。また、ネット上で誹謗中傷を受けていた女子プロレス選手の急死にも触れ、「話を聞いてから、食事が喉を通らなくなった。見えない相手にどうしてここまで追い詰められてしまうのか。それくらい、言葉のひとつひとつには影響力がある。何らかのアクションを起こすことが必要だと思った」と語った。

(毎日新聞 2020年6月9日より)

先月、人気番組「テラスハウス」に出演していた女子プロレス選手の木村花さんが急死しました。番組内容をきっかけに会員制交流サイト(SNS)上で誹謗中傷が続き、苦しんでいたとされています。憶測に基づく誹謗中傷がネット上で拡散し、不安と孤独に苦しんでいた木村さんに、伊藤さんは自分の境遇を重ねていたようです。

話は変わりますが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、「自粛警察」と呼ばれる「緊急事態宣言の下で外出や営業などの自粛要請に応じない個人や店舗に対して、私的な取り締まりを行う一般市民」が注目されました。分散登校期間中、この浜田高校にも、「生徒がマスクをせずに登校することがないように」という一般市民の方からのお電話がありました。このお電話された方も一種の「自粛警察」なのかもしれないと思いました。

一見、「誹謗中傷」と「自粛警察」は無関係のように見えますが、共通点があるように思います。どちらも、行っている人は「自分は正しい指摘をしている」という判断の上で、相手に向かっていくということです。それは大げさな言葉で言えば「正義感」なのかもしれません。自分が「正しい」と思っていることについて、「ひとりよがりではないか?」「多くの人が同調しているように見えても、実はそうではないのではないか?」と疑う姿勢が必要です。多くの人が同調している意見が正しいとも限りません。ネット上では、匿名での書き込み、相手の顔が見えない状態でのやりとりが多くなります。「言論の自由」について言う人もいますが、「自由」とは、何をやってもいいことではありません。自由には責任が伴います。人権侵害につながる言動は、自由とは認められません。法整備のニュースが出た途端に、書き込みやアカウントを削除する人が増えたそうです。みなさんには、そんな無責任でずるい生き方をする人にはなってほしくありません。

(裏面につづく)

## < 人種差別 ～多様性を尊重し合える社会に～ >

ミネアポリスで黒人男性ジョージ・フロイドさんが白人警察官によって拘束死させられた事件がありました。当時の映像がSNSで拡散されて批判が高まり、全米で抗議デモや一部で暴動略奪が起きています。米国内では最近、根強い黒人差別をうかがわせる事例が相次いで明らかになり、改めて社会問題化しています。このニュースを頻繁に目にするようになった頃、前任校の卒業生がInstagramに投稿した記事を読みました。

今スーパーで列に並んで娘はカートに乗ってて／そしたら6歳くらいの日本人の男の子が娘の真横に来て髪のももじゃもじゃって2回言ってきたんだけど／それともじゃもじゃ可愛いみたいな感じではなくて私は娘に限らずカーリーヘア可愛いと思うし／スキンカラーも可愛いと思うんだけど日本の学校に通って育っていく上で／やっぱり見た目についていろいろ言われるのかなその時に娘はどう感じるのかなって思ったら心が痛いなそのまま可愛いって娘には言い聞かせて育てるけど見た目について言われた時に娘が1ミリでも自分って変なのかなとか絶対思っただけ欲しくはないし難しいな子どもは純粹だから思ったこと言うしな髪のももじゃもじゃは大したことないかもだけど／私はなんか悲しくなった

彼女は黒人男性と結婚し、彼との子どもを出産し、日本で生活しています。子どもの写真を見たことがありますが、いわゆる黒人の赤ちゃんです。彼女の投稿を読み、やるせない気持ちになりました。本人の責任ではないことについて、また見た目について、周囲から理不尽な言動を向けられることのやりきれなさは、様々な人権課題に共通していると思います。黒人差別のニュースは、私にとって少し遠いことでした。でも、彼女の投稿を読み、私の中では遠いことではなくなり、自分に近いこととしてとらえることができました。彼女へコメントをすると、次のように返ってきました。

子どもが自分と違う容姿の子を不思議に感じることは普通だと思います。差別意識を持つかどうかは育つ環境や周りの大人がどれだけ正しい知識を与えてあげるかによると思うので私も一人の親として気をつけたいと思います。

日本の社会は日本人だけに囲まれている環境が割と当たり前だと思うのでむしろそれが普通だと思います。これから育っていく子どもたちのために、いじめや差別が少しでもなくなる世の中になればいいと思います。

自分が知っている卒業生がこんな素敵な大人・母親になっていることを誇りに思いますし、差別や偏見をなくすために、自分ができることをやっという思いを新たにしました。 (人権・同和教育担当：岡崎)

## < 「いじめ防止アンケート(第1回目)」を実施しました > ～生徒部より～

このアンケートは「学校いじめ防止基本方針」に基づいて行うアンケートで、5月に実施した「人権意識調査」の結果と併せて、生徒の皆さんがいやな思いをしていないか、いじめを受けたり仲間はずれにされたりしていないか等を点検し、安全・安心・快適な学校生活を送れるようにするために実施しています。アンケート実施後は、担任・副担任の先生がクラス毎に集計を行い、生徒部で全体をまとめた上で、記述内容に応じて個別に対応したり、個人面談を行ったりしている他、定時制・通信制の教職員全員が参加する会議で生徒の皆さんの状況を確認したりしています。

アンケートには書かなかったけれど、自分のことや友だちのことで気になっていることや伝えたいことがあれば、いつでもいいので、担任の先生や教科指導の先生をはじめ、先輩や同級生、保護者の方など誰かに相談してください。相談が難しい場合は、「いじめ相談電話番号(0120-779-110)」等も活用してください。

学校は、困っている生徒、悩んでいる生徒、苦しんでいる生徒がいれば解決に向けて対応します。一人で悩まずに、周りの誰かに相談してください。必ず力になってくれる人がいます。そして、困っていたり悩んでいたりする友だちがいたら、その友だちの力になれる人になってください。大切な友だちのために、大切な自分の時間を使ってください。自己有用感とともに人と人とのつながりの大切さを実感できるはずです。 (生徒部 人権・同和教育推進委員：春木)